はいすい見張り版

おねがい
トラブルが続出しています！
〜金属缶で有機系廃液を出す時は…〜

最近、有機系廃液回収時に、液漏れ等のトラブルが多発しています。このトラブルは、金属缶で出された廃液で多く見られます。原因の一つとして、金属缶の腐食が挙げられます（詳細は先月号を参照）。また、搬入時に落としたり、ぶつけたりすることによって、缶に穴や亀裂が生じるケースもあるようです（写真 1 右）。この場合は、新しい容器に入れ替えていただくことになり、手間も時間もかかってしまいます（写真 1 左）。廃液を入れる時、運ぶ時は、缶に穴などが無いかを十分に確認し、丁寧に取り扱ってください。

写真 1：液漏れした金属缶（右）と、廃液の移し替え作業（左）

さらに、注ぎ口のキャップの不備による液漏れも多く見られます。金属缶のキャップには、キャップの内側に厚紙と銀紙が入っているタイプ（写真 2 右）と、パッキンが付いているタイプ（写真 2 左上）があります。これらの紙やパッキンが、しっかり付いていないと、キャップの隙間から内容物が漏れてしまいます。特に紙タイプの物は、紙を落としたり紛失したりしやすいので、注意が必要です。キャップを閉めた時、キャップがクルクル回る状態では液漏れが起こります。キャップがしっかり固定されていることを確認してから廃液を出すよう、ご協力をお願いします。

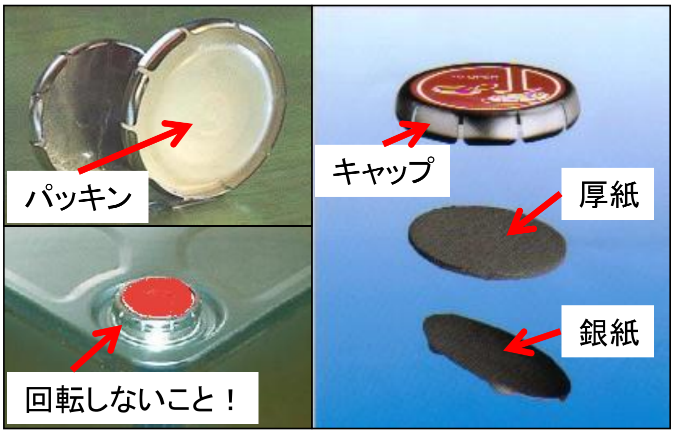
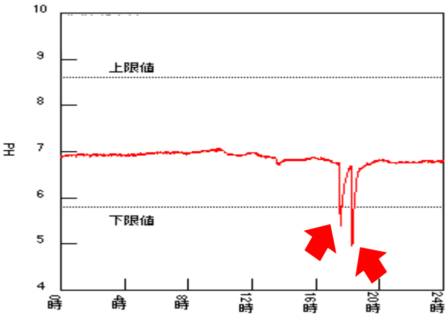


写真 2：液漏れ防止のため、金属缶のキャップの内側には、厚紙＆銀紙やパッキンが付いている（右・左上）。
キャップが回転する場合、これらが無いことが多い（左下）。

注意事項
実験排水 pH 異常　多発！
〜新学期は特に要注意！〜

前期の授業期間が終わり夏休みを迎える 7〜9 月にかけて、各地区で、実験排水 pH 異常が頻発しています。6 月までは、全地区合計の異常発生回数が 10 回未満だったのに対し、7 月以降 10 回を超え、9 月にはついに 25 回もの異常が発生しました。



1 日に複数回の異常が発生するケース（図）、連日の様に異常が発生するケース（表）も目立ちました。

日	1	2	3	4	5	6	7
曜日	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)
最大値	6.3	6.3	5.9	6	6	6.1	6.1
最小値	5.9	5.9	5.7	5.7	5.5	5.3	5.7
異常回数	0	0	1	1	1	1	1
異常時間			10:40	4:50	11:50	16:30	1:30

10 月に新学期が始まると、ますます pH 異常が増加することが予想されます。先生方、スタッフの皆さま、そして学生の皆さん、薬品類や廃液の取扱いには、今まで以上に注意していただくよう、お願いします。

新・連載企画

～クイズで 納得！～ 廃液マメ知識
第 5 回:水銀廃液の話

水銀と言えば、温度計に入っている銀白色の液体を思い浮かべる方も多いかと思います。水銀は非常に有害な物質なので、取り扱いには十分な注意が必要です。山口大学では、水銀汚染の拡大を防ぐため、水銀廃液は専用の廃液容器に貯留することになっています。では、研究室で水銀（水銀廃液）が発生した場合の取扱いについて、次のうち正しいものはどれでしょう？

① 温度計を割ってしまったので、中に入っていた水銀を「水銀廃液」のタンクに入れた。

②「水銀廃液」のタンクに入れて良いのは、実験に使用したごく薄い(ppm レベルの)水銀溶液だけである。

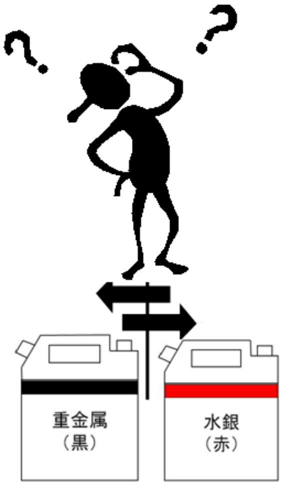
③水銀濃度が 10ppm 以下の廃液は、水銀が十分に薄いため、「重金属廃液」として出すことができる。

☆☆☆ 前回の答えと解説 ☆☆☆

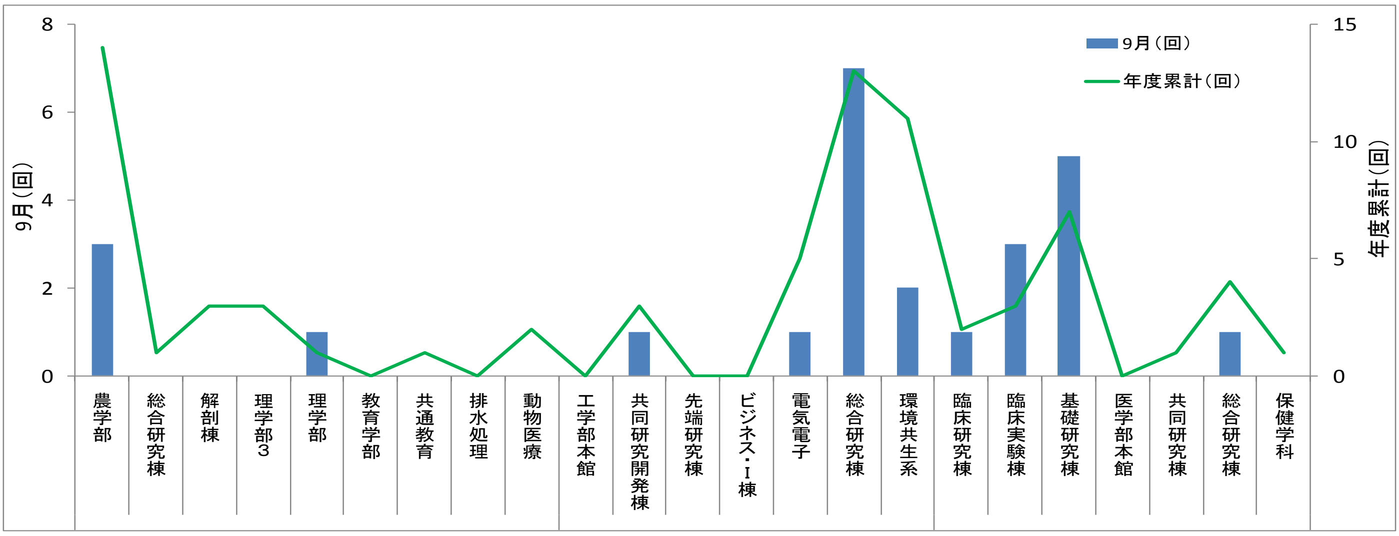
①×：凝集沈殿法ではなくフェライト法という方法で無害化処理しています。

②×：カドミウム・ヒ素は重金属廃液ですが、水銀は別区分の水銀廃液となります。

③×：中和や希釈が困難な場合、有害物質を含まない酸やアルカリも、重金属廃液として出すことができます。



pH 異常発生回数 建物別対抗戦 ９月分結果発表！



1 ページ目でお知らせしたとおり、9 月は非常に多くの pH 異常が発生しました。特に宇部地区での発生が目立ち、総合研究棟（常盤）では、1 か月に 7 回と、今年度の全学の最多記録を更新しました。また、基礎研究棟（小串）では 5 回、農学部本館（吉田）と臨床実験棟（小串）では各 3 回の異常が発生しました。10 月以降、回数が増えることが無いよう、皆さま十分にご注意ください。また、入居（使用）中の建物内で pH 異常が発生した場合は、速やかに原因を究明し、再発防止に努めていただくよう、お願いします。

１０月の廃液回収情報

- 10 月 15 日（金）　14：00～15：00　小串地区 廃液回収（於：小串地区廃棄物倉庫前）

山口大学 総合科学実験センター 排水処理施設

TEL ： 083-933-5137（内線：6137）, 0836-85-3064（内線：3064）

E-mail ： haisui@yamaguchi-u.ac.jp

URL ： http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/index_j.html

皆さまからの ご意見・ご感想をお待ちしております・・・